

ぶたぶたこぶた

プレイ人数:3~10人 プレイ時間:20~40分

対象年齢:10歳~ デザイン:ふじわら先生

ある日、目が覚めたら自分が「ぶた」になっていました。
何とかして人間に戻りたいと思えど、あなたを出荷しようとする
人間たちなど妨害が待っていたのです。
果たして、あなたの向かう運命はいかに。

◆内容物

ゲームカード60枚(31種類)、説明書2枚(本書、カード説明)

◆ゲームの準備

「しゅっか」「ぶたの王国」と書かれている2枚のカードを除き、
残りのカードをシャッフルします。その後、下の表に合わせて、各
プレイヤーに手札を配ります。そして、除いた2枚を加え、もう一度
シャッフルをし、裏側のままプレイヤーの真ん中に置きます。
(これを山札とします)

◆初期手札

3人:10枚	4人:8枚	5人:6枚	6人:5枚
7人:5枚	8人:4枚	9人:4枚	10人:3枚

◆手番の流れ

最近、豚料理を食べたプレイヤーがスタートプレイヤーです。プレイヤーは自分の手番で次の①、②のいずれかをしなくてはなりません。

①手札のカードを1枚使う

手札のカードを1枚公開し、その効果を実行します。その後、表にしたまま、自分の手前に置いておきます。(以後、ここを場と呼びます)このとき、交渉(後述)することはできません。また、手札がないとき、①は行えないので、②をしなければなりません。

②山札からカードを1枚引く

山札のカードを1枚表にし、その効果を実行します。その後、そのカードはあなたの手札となりますが、そのとき、あなたは他のプレイヤーと話し合い、交渉することができます。

※してよい交渉例

・引いたカード、手札の受け渡し

「引いたカード、あげたいです」「手札の〇〇と交換しませんか」
(このとき、場にあるカードは受け渡しできません)

・未来交渉

「引いたカードあげるから、次のターン〇〇してくれますか」
(交渉を受けても守る必要はありません)

◆ゲームの勝利条件

まず、「しゅっか」「ぶたの王国」のカードを引いたプレイヤーの場に置き、さらに負けた陣営のプレイヤー全員は、**手札をすべて場に置きます**。自分の場にあるカードの点数をすべて足し、それがあなたの点数になります。(勝った陣営の点数は0点です)

ゲームを何度か繰り返し、(プレイヤーの点数はメモしたほうが良いでしょう)プレイヤーのだれかが30点を超えたとき、そのプレイヤーは最終的な負けになります。そして、30点を超えなかったプレイヤーが最終的な勝ちになります。

◆ヴァリエーション

短時間でゲームをしたいのであれば、一回限りで点数勝負してもいいでしょう。また、30点のリミットを変えてもいいでしょう。

◆作者より

本ゲームをお買い上げ頂き、本当にありがとうございました！このゲームであなたが少しでも楽しいものにできれば、制作者として本当に幸せです。

ゲームデザイン ふじわら先生

連絡先 withsmile.hiro@gmail.com

ホームページ <http://wisteria.blog.jp/>

Twitter ふじわら先生 @Fujiwarajyuku